

## 平成 28 年度 庁舎耐震診断調査結果

庁舎本館、新館、南別館、保健所を対象に耐震診断（2次診断）を実施し、構造耐震指標（I<sub>s</sub> 値）を算定した。

庁舎耐震診断（2次診断）構造耐震指標 I<sub>s</sub> 値（最低値）算定結果表

庁舎名	建設年度	建物概要	I <sub>s</sub> 値（最低値）
市庁舎本館	S 1 1	R C 4 階建 塔屋 5 階 延べ 5,543 m <sup>2</sup>	事務所階 0.32
			塔屋 0.06
市庁舎新館	S 3 4	R C 4 階建 延べ 2,874 m <sup>2</sup> ・	0.28
市庁舎南別館	S 4 6	R C 2 階建 延べ 947 m <sup>2</sup>	0.75
保健所庁舎	S 5 1	R C 地上 4 階 地下 1 階 延べ 2,453 m <sup>2</sup>	0.61
(参考)			
企業局庁舎	S 5 7	R C 地上 5 階 地下 1 階 延べ 4,093 m <sup>2</sup>	0.53

※構造耐震指標（I<sub>s</sub> 値）

地震力に対する建物の強度、靱性（変形能力、粘り強さ）を考慮し、建築物の階毎に算出した数値

国土交通省「特定建築物の耐震診断及び耐震改修に関する指針」による I<sub>s</sub> 値の基準値

0.3 未満	地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い
0.3 以上 0.6 未満	地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある
0.6 以上	地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い

庁舎耐震診断（2次診断）構造耐震指標  $I_s$  値算定結果表  
 平成 28 年 10～12 月調査            は最低値 **ゴシック** は  $I_s < 0.6$

1. 市庁舎本館

(1) 事務所階

階	X方向		Y方向	
	正加力	負加力	正加力	負加力
4	0.76	0.75	0.88	0.83
3	<b>0.58</b>	0.61	<b>0.34</b>	<b>0.45</b>
2	0.68	0.71	<b>0.32</b>	<b>0.51</b>
1	0.78	0.80	0.51	0.48

(2) 塔屋

階	X方向		Y方向	
	正加力	負加力	正加力	負加力
P 5	<b>0.06</b>	<b>0.06</b>	<b>0.08</b>	<b>0.08</b>
P 4	0.85	0.85	0.84	0.84
P 3	0.63	0.63	<b>0.54</b>	<b>0.54</b>
P 2	<b>0.48</b>	<b>0.48</b>	<b>0.40</b>	<b>0.40</b>
P 1	<b>0.40</b>	<b>0.39</b>	<b>0.37</b>	<b>0.37</b>

2. 市庁舎新館

階	X方向		Y方向	
	正加力	負加力	正加力	負加力
4	1.10	1.07	0.64	0.72
3	0.65	0.64	<b>0.49</b>	<b>0.49</b>
2	<b>0.57</b>	<b>0.54</b>	<b>0.28</b>	<b>0.29</b>
1	0.68	0.66	<b>0.32</b>	<b>0.35</b>

3. 市庁舎南別館

階	X方向		Y方向	
	正加力	負加力	正加力	負加力
2	1.26	1.26	1.27	1.13
1	1.28	1.23	0.90	0.75

4. 保健所庁舎

階	X方向		Y方向	
	正加力	負加力	正加力	負加力
4	2.05	2.11	0.76	0.72
3	1.20	1.18	0.62	0.61
2	1.16	1.15	1.21	1.23
1	0.99	0.95	0.92	0.92

(参考) 企業局庁舎

階	X方向		Y方向	
	正加力	負加力	正加力	負加力
5	1.67	2.13	1.67	2.12
4	0.79	0.84	0.78	0.85
3	<b>0.59</b>	0.77	<b>0.58</b>	0.77
2	<b>0.53</b>	0.66	<b>0.53</b>	0.65
1	<b>0.58</b>	0.67	<b>0.58</b>	0.67